

『なかよし班や異学年交流で育むピア・サポート』

藤枝市立朝比奈第一小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	なかよし班スタート集会 生活向上委員会を中心に縦割り掃除 (通年) なかよし遊び(6年担当)	なかよし班や縦割り掃除で 異学年との交流開始	<p>共感的な児童理解「全職員で全児童を」をモットーに、子どもたちと向き合っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二回職員会議…ピア・サポート活動について共通理解。</li> <li>・授業を見合う週間(年2回実施)職員も児童のよさを見つけ、伝える。</li> <li>・生活アンケートを実施し、児童の実態把握と理解を図る。</li> <li>・子どもを語る会(年2回実施) ○教室に入りづらさを感じる児童への対応(全職員でサポート体制をとる。)</li> <li>○岡部地区3校合同研修の実施(年3回の実施)</li> </ul>
5月	運動会練習	学年団やなかよし班、赤組・白組に分かれて練習し団結力を高め合う	
6月	運動会 修学旅行(6年) 授業を見合う週間	他学年のよさを見つけ、自己を振り返る	
7月	なかよし遊び(4年担当)		
8月			
9月	なかよし遊び(3にも委員会担当)クラブ	異学年交流で学ぶクラブ運営	
10月	自然教室(4・5年) 校内音楽会に向けての運営(全校で実行委員会募集) 全校なかよし遠足に向けての下見(5・6年)	音楽会や遠足は児童が主体的につくり運営 各行事で振り返りを行い、実行委員や他学年のよさを見つけ、自己を振り返る	
11月	校内音楽会 全校なかよし遠足 なかよし遊び(3年担当)		
12月	授業を見合う週間		
1月		ピア・サポートトレーニング	
2月	ありがとうの会 なかよし遊び(5年担当)	1年間を振り返り、感謝の気持ちを伝える 自分や友達の成長やよさを振り返る	
3月	卒業式		

なかよし班活動「にこにこの花」友達のよさを放送で紹介し、自分のよさに気付く

## 1 本校のピア・サポート<提言1、5、6>

本校は、なかよし班活動を軸として異学年との関わりを大切にしている。なかよし遊びやなかよし遠足など、なかよし班での活動を多く取り入れ、縦割り掃除や運動会、授業を見合う週間など、異学年との関わりを意図的に設定している。目指す学校のすがたを6年生が考え、「自分で考え 相手を考え みんなで考え 笑顔の学校」を合言葉に、子ども同士の温かな関係づくりを目指している。

## 2 本年度の取組

### (1) 授業において

研修テーマ「自ら考え つなげ 深める～学びを深めるための教師の出番～」を目指し、授業を行ってきた。ステージ毎に重点目標（温かく聴こう・相手を意識して話そう・聴いて話して考えよう・自分たちの授業を振り返ろう）を掲げ、相手や仲間を意識して取り組んだ。授業を見合う週間では、各クラスの授業像を事前に児童に伝え、参観児童は各クラスで大切にしていることを意識して授業を見学した。また、職員は週に1回1人ずつ打合せのときに、5つの考え方（自己決定・発達の可能性・人間的ふれあい・相手との関わり・存在感）を視点に、児童のあらわれを紹介し職員間で共有をした。児童と職員がお互いにピア・サポートの視点を意識して授業に取り組むことができた。

### (2) 特徴的な活動<提言4、5、6、7>

#### ① なかよし班活動

なかよし班とは、全校児童を6つに分けた班であり、1年間同じメンバーで活動している。なかよし遊び（年間4回3～6年担当）や、なかよし遠足（地域探訪）など様々な教育活動の中で位置づけてなかよし班活動を行っている。遊びや遠足では、各学年が企画・進行を行い、「みんなが仲良く楽しく過ごす」にはどんな事が必要かを話し合っって計画をしている。低学年が困っている時には自然と高学年が手を貸していたり、優しく声をかけたりしている姿がたくさん見られた。また、児童一人ひとりが、班のみんなと楽しく過ごせるように、考えて行動している姿がみられた。

#### ② にこにこの花

にこにこの花とは、児童が学校生活の中で友達の頑張りや良い行動を見つけカードに書いて伝え合う行動である。カードには「3にも」の視点を設け（じ（自分）・あ（相手）・み（みんな）、どの視点でよさを見つけたのかを記入できるようにしている。にこにこの花のカードを3にも委員会が放送で紹介をして、全校に「3にも」が広がるように活動を行っている。カードを書く児童も受け取る児童も仲間を意識した活動となり、ピア・サポートの心を養う場となっている。自己有用感や規範意識の向上へとつながっている。

## 3 本年度の成果と来年度に向けて

なかよし班活動を通して、困っている仲間に声をかけ、優しく関わる児童の様子が多く見られた。今年度のなかよし遠足は、朝比奈城址に行った。5・6年生が事前に下見をして楽しく安全に行けるように計画を立て、当日は地域の方々がたくさん協力していただいた。校内での活動はもちろんのこと、地域の方との関わる活動でもピア・サポートを意識して取り組むことができた。今後も小規模校の強みを生かし、地域との連携を図りどんな場でも自然に回りの人と温かく関わるのできるピア・サポートの心を育てていきたい。

